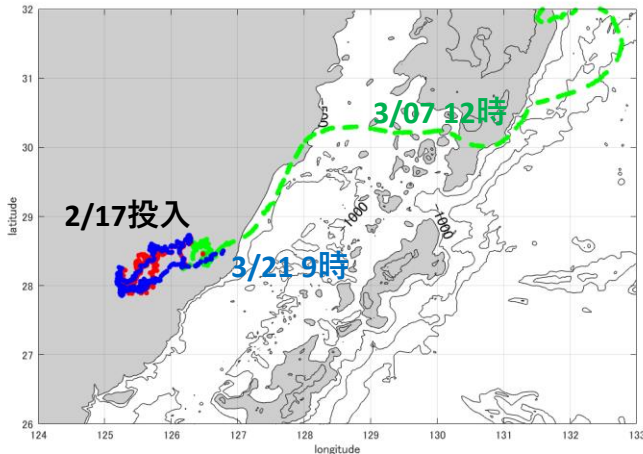


漂流バイ観測速報(13)

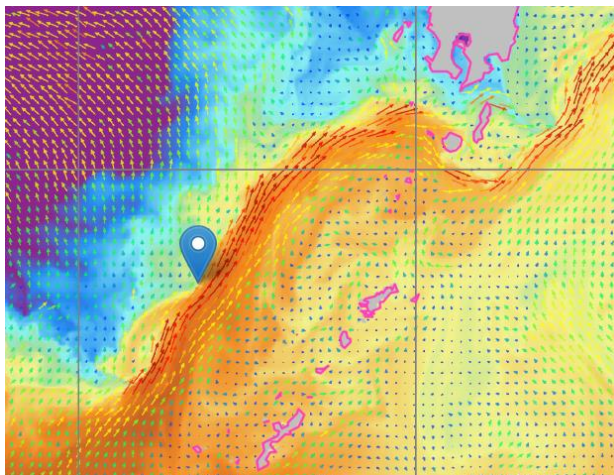
鹿児島大学水産学部水圏科学分野

2023年3月21日



漂流経路図:

3個のペットボトル型バイの漂流軌跡(3月21日9時現在).
注意:漂流バイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(3月21日9時): 図中のマークは2日現在の緑色●の漂流バイの位置を示す。矢印は海面の流速と流向を示す。

提供: 海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

データ表: バイ投入から3/21 9時までのバイの位置情報. 時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)		
日本時間3月21日9時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 2:11	126.48	28.46
2023/3/7 2:53	125.66	27.97
2023/3/20 0:04	125.77	28.44

鹿大水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型バイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。3月7日に先行する1つのバイ(緑色)が薩南海域通過した後、後続の2つのバイは大陸棚縁辺に停滞していたため、3月7日以降、情報の更新・公開を中断していました。しかし、後続バイ(青色)が黒潮に取り込まれ始めたので、本日より漂流経路図(左図)とデータ表(下表)の更新・公表を再開します。

解説: 現在、1個のバイ(青色)が、奄美大島西方で黒潮縁辺の強流帯に取り込まれ始めました。このバイは、先行して漂流した緑色バイと同じ経路をたどっています。緑色バイの漂流履歴を参考にとすると、青色バイは約1週間後の3月28日頃に屋久島南海域に到達すると予想されます(流れ藻集団の規模は不明)。大陸棚縁辺部で、赤色バイも青色バイの後を追っていることから、今後、赤色バイも青色バイ同様に黒潮に取り込まれてトカラ海峡を通過する可能性が高いと予想されます。

青色バイについては、海況予報モデル(DREAMS_E)による38時間先の漂流予報は行いません。

ID:227201 (●)		
日本時間3月21日9時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 1:31	126.16	28.33
2023/3/7 2:52	125.29	27.98
2023/3/20 0:06	126.79	28.52

ID:227202 (●)		
日本時間3月21日9時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 8:07	126.18	28.24
2023/3/2 2:56	127.29	28.86
2023/3/7 2:58	130.05	30.24
2023/3/20 0:03	131.80	32.53